自動車整備業を取り巻く現状と課題

平成26年10月

山口日産自動車株式会社 代表取締役会長 末冨 喜昭

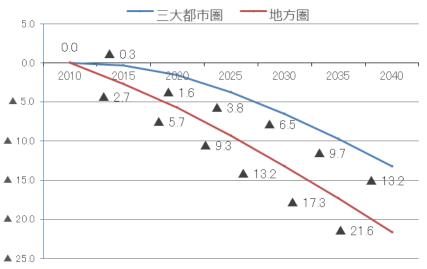
1. 自動車整備業の現状と課題

人口減少、少子高齢化、保有台数減少は、入庫台数の減少に直結。 自動車整備市場の縮小により、整備事業は経営環境が悪化している。特に地方圏では整備 工場の不在地域の出現等により自動車の安全性確保、地域の雇用に大きな悪影響を及ぼす。

①地方圏を中心とした人口減少 や高齢化が進展

人口減少・高齢化は、特に地方部において顕著

三大都市圏と地方圏の人口増減率(推計)



出所:総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口 (平成24年1月推計)」により国土交通省作成

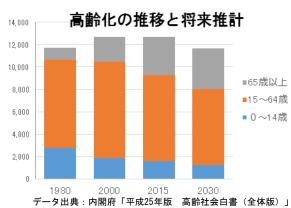
三大都市圏:首都圏:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県 中部圏:長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿圏:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

地方圈:三大都市圏以外

②自動車ユーザーの高齢化 (顧客の減少)

日本の総をはしている。日本の総をので65歳以中で65歳は増工の自動をはいままでの事業をはいままでのでは、一条のとは、一条ののでは、一条のとは、一条ののでは、一条ののでは、一条のののでは、



③総保有台数・継続検査台数の減少

自動車保有台数は現状では横ばい模様にあるが、 中長期的には人口減少や高齢化人口の割合に伴い、 減少していくと考えられる。

保有台数	継続検査台数
7,962万台(平成24年)	3,232万台(平成24年)

4整備事業における後継者不足

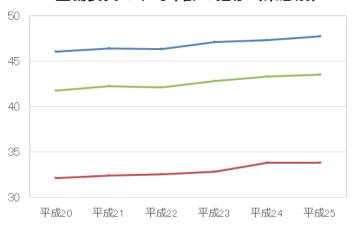
経営者の高齢化、後継者の不在、また後継者の 経営ノウハウ不足等により事業承継問題が顕在化 している。

特に、零細な認証専業者(整備要員数2~3人規 模)の内、約3割が後継者不足の状態。

⑤整備要員の高齢化

整備要員の平均年齢は毎年上昇傾向にあり、平 成25年度は43.5歳、対前年度0.2歳増となった。

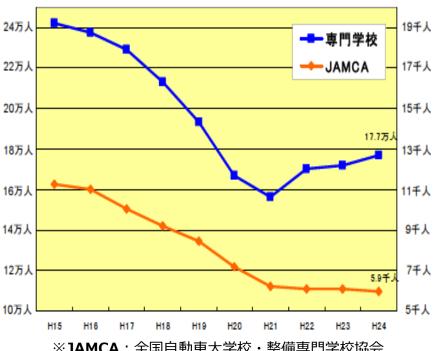
整備要員の平均年齢の推移(業態別)



⑥若者の車離れと整備士志望者の減少

自動車整備関連の大学校や専門学校への入学者 は、10年前と比較して半分以下に激減している。

専修学校(自動車整備学科)入学者数の推移



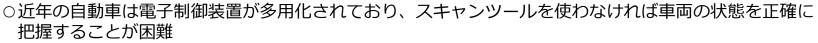
2. 整備事業者の今後の取組み

①整備技術力の強化

○自動車の安全を確保する為には、今後も増加していくハイブリッド車・電気自動車等の 新技術への対応が必要不可欠。

新技術への対応

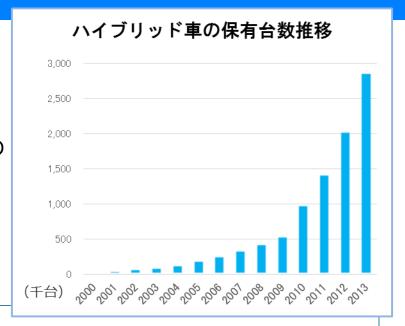
新技術の課題



- ○スキャンツールは点検・整備には必要不可欠であり、また、その活用には高度な知識や技術が必要。
- ○現在、自動車整備業界を挙げてスキャンツールの普及促進に取組んでおり、今現在、普及率は4割程度と なっている。

整備業界の取り組み

- ○整備事業者向けにスキャンツールの研修会を実施
- 「スキャンツール活用事業場認定制度」(認定店数:4,298店 平成26年4月現在)の推進
- ○整備技術情報提供システム(FAINES)にて、インターネット経由で点検整備情報を整備事業者に提供



②CS(顧客満足度)向上·車に乗りたいと思わせる様々なサービスの提供

○地域に密着した活動を続けている整備事業場だからこそ可能な、地域のユーザーニーズに対応するCSの向上が図られる。

CS向上のために

お客様の車の使用状況を把握

- ・普段の主な使用状況、週末などの使用状況をヒアリング
- ・車本体だけではなくライフスタイルを含めて車と関係しそうなエピソード を把握することにより更に提案の幅を広げる



お客様に合った提案メニューを検討

- ・把握した使用状況やライフスタイルから提案・提供できそうなメニュー を個々のお客様ごとに検討
- ・より多くのお客様に提案・提供できそうなメニューを自社メニュー として採用



お客様向けサービス・メニュー説明・提案の実践

- ・事前にお客様への説明・提案方法(話し方)について社内で検討
- ・自社提案サービスの内容については詳細に把握



③ES(従業員満足度)の向上・人材育成と生産性向上

○職場環境の整備や処遇の改善、生産性の向上、安全・環境等の社会的要請への的確な対応に努めることにより、質の高い労働力が求めている事業場の活力や環境を維持・向上させ、地域雇用の拡大に繋がる。

ES向上のためには

従業員のモチベーションの維持・向上

- ・従業員とのコミュニケーションの活性化
- ・経営状況を正しく伝え、健全な危機感を共有する
- ・賃金引上げや柔軟な休暇取得体制の取組み

若年層の雇用と人材育成

- ・若年整備要員の積極的な採用活動
- ・日ごろから人材募集をかける方法の調査や候補者を紹介してもらう人脈の形成
- ・退職者に対する補充人員の考え方を整理、速やかに採用活動が展開できるような準備をしておく

計画入庫による生産性の向上

- ・予防整備の徹底で不意の入庫を減らし、計画入庫を基本とする
- ・車検や定期点検などの予約入庫の促進





3. 山口日産自動車株式会社の取組み

人口減少・高齢化先進県における 豊かな未来企業づくり

歴史 県人口

1929 フォード代理店として創業

1989 60周年 1985 160万人 2009 80周年 2010 145万人 2029 100周年 2030 120万人

高齡化率 30.2% 全国4位(13年) 人口減少全国8位

県の特徴

地方中核都市に挟まれた小都市分散構造

北九州 97万 山口13市 広島市116万

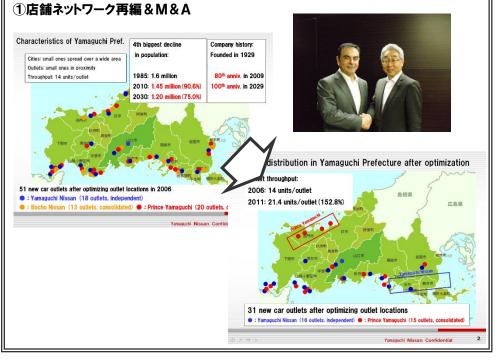
20~30万 1

福岡 149万 10~20万 5

~10万 7

消費・人財・資本の流出





4. 山口県自動車整備振興会における独自の取組み

① 山口県版データ集(山口県版整備白書と位置付)を使用した将来ビジョンの展開 <平成23年度実施>

- ・自動車整備業のビジョン(平成23年日整連作成)の展開に併せて山口県版データ集を作成し展開。
- ・県内の保有台数、保有構造の変化、継続検査状況、県内地域別の人口推移、ハイブリッド車への対応状況等を掲載。
- ・自動車整備業実態調査データを活用し、当県と現在の人口同規模県及人口減少後の将来の同規模県を 比較したデーター覧表を作成。
- ・将来に向けての提言として、「技術力強化」、「CS向上」と「ES向上」の必要性を訴えた。

② 事業の後継者及び今後の事業展開についてのアンケート調査実施 < 平成23年度実施 >

- ・整備事業者のうち65歳以上が35%を占め、平均年齢は59.5歳。
- ・50歳以上の事業者のうち50%は後継者がいない。
- 後継者がいない事業者の約半数は高齢化による廃業を視野に。

③ 事業の後継者を対象とした「座談会」の開催 <平成24年度から実施>

- 前項の調査結果を踏まえ、後継者を対象とした意見交換の場として「後継者座談会」を県内各地で開催。
- ・整備業界の活性化や事業承継、直面している課題等についての意見要望を把握し対応に努める。

開催回数 11回(平成26年9月現在)

参加者数 69名

平均年齢 40.8歳

5. 国土交通省への要望

自動車の安全確保、個々のユーザーニーズへの対応 及び雇用の活性化を図るために、「技術力の強化」、 「CS向上」、「ESの向上」に整備業界として取組んで おります。

また、国においても定期点検整備励行のための施策 及び人材育成を含む事業育成等のご尽力頂いていると ころですが、今後も継続した支援をお願い致します。

